

授業科目名	赤十字活動Ⅰ			担当教員	小川 里美、高瀬 文広	
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	赤十字の理念に基づく活動を見学し、社会における赤十字の活動意義・役割を理解する。					
到達目標	1. 学習課題を明らかにできる。 2. フィールドワークの計画書を作成できる。 3. 計画書に基づき、主体的かつ社会人として相応しい行動ができる。 4. フィールドワークの成果をまとめ、発表ができる。 5. 発表会での意見交換や文献を活用して「赤十字の活動意義・役割」について考察できる。					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	赤十字活動を概観し、演習の方向性を示す。	講義	赤十字概論で学習した内容について復習しておく	1時間	高瀬 小川	
2	学習課題を明らかにし、フィールドを決定する。グループを編成する。	演習	(予習) 興味・関心を持っている赤十字活動について調べておく	1時間	高瀬 小川	
3	事前学習を行う。 ① グループで取り組む課題、自分が明らかにしたい課題を明確にする。	演習	(予習) 学習課題について調べておく	3時間	高瀬 小川	
4	② フィールドの特性を調べる。 ③ フィールドの管理者と日程・内容を調整する。		(予習) フィールドの特性について調べておく		高瀬 小川	
5	学習したこと、調整したことをまとめ、フィールドワークの計画書を作成する。		フィールドとなる施設の管理者と日程・内容等を調整する		高瀬 小川	
6	計画にもとづき、フィールドワークを実施する。 ① 挨拶、インタビューの準備・練習 ② 施設への最終連絡・調整 ③ フィールド訪問・見学	学内・ 学外 演習	(予習) フィールドワークの方法について学習しておく	3時間	高瀬 小川	
7					高瀬 小川	
8					高瀬 小川	
9					高瀬 小川	
10					高瀬 小川	
11	高瀬 小川					
12	フィールドワークの成果をまとめ、発表の準備をする。	演習	(復習) フィールドノートの整理をしておく	3時間	高瀬 小川	
13					高瀬 小川	
14	発表・成果のフィードバック、まとめ	演習	発表後の質疑・応答を整理しておく 文献を活用し、課題レポートをまとめる	3時間	高瀬 小川	
15					高瀬 小川	

先行履修科目					
テキスト	特に指定しない。				
参考文献	「赤十字概論」で配布した資料 日本赤十字社：赤十字のしくみと活動 平成 28 年度版、日本赤十字社、2016. 菅原和孝：フィールドワークへの挑戦、世界思想社、2006. 佐藤郁哉：フィールドワークの技法、新曜社、2002. 授業中に適宜紹介する。				
メッセージ	赤十字に関する理解を深めることは、看護師として基盤となる人間力を高めることにつながります。赤十字に関して同じような興味・関心を持っている仲間と赤十字の思想を具現化する赤十字の活動について調べ、活動の場に赴いて実践者と触れ合い、脈々と続く赤十字の精神とは何か、さらに理解を深めてみませんか。				
科目の位置づけ	本科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉に位置づけられ、本学の建学の精神でもある「赤十字の理念・思想」の理解を深めることによって、個人の尊厳を尊重する豊かな人間性を涵養することを目指している。主体的・自立的な学習を基本とし、「赤十字概論」で学んだ内容をさらに発展させ自らの知的関心を満たす方法を学ぶこと、課題を通して看護師として必要な「人間の尊厳と権利を擁護する力」、「チームで働く力」を育成する。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	◎		○		
評価方法	授業への参加度 10% 提出物（計画書、フィールドワーク記録、発表資料）40% 課題レポート 50%				